



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東
コード番号 8059 URL <https://www.djk.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 船渡 雄司
問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 田端 裕也（TEL）03-6370-8697
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	107,326	6.0	6,591	7.6	6,705	7.9	4,966	15.8
2025年3月期中間期	101,288	28.8	6,126	98.0	6,214	104.9	4,290	74.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 5,854百万円（23.1％） 2025年3月期中間期 4,757百万円（△7.2％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	155.63	155.22
2025年3月期中間期	135.23	134.80

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	164,764	84,145	51.0
2025年3月期	171,373	79,852	46.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 83,960百万円 2025年3月期 79,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	41.00	—	51.00	92.00
2026年3月期	—	51.00			
2026年3月期（予想）			—	71.00	122.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日（2025年11月6日）公表いたしました「通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 43円00銭 特別配当 8円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	1.5	13,200	0.7	13,500	△0.7	9,600	8.6	300.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日（2025年11月6日）公表いたしました「通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	32,759,200株	2025年3月期	32,759,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	825,819株	2025年3月期	876,844株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	31,911,155株	2025年3月期中間期	31,724,477株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2025年11月21日（金）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会をオンラインで開催する予定であります。この説明会の動画及び使用する資料については、開催後速やかに当社コーポレートサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、物価上昇による消費マインドなどに弱さが見られるものの、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、日米関税交渉の合意により米国の関税政策の過度な警戒感や和らいだものの引き続き不安要素が残り、また、海外景気の減速、地政学リスクの高まり、急激な為替変動への懸念などにより、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、ヘルスケア事業における医療関連機器製造装置や自動包装機ラインの売上が大幅に増加したことや、自動車事業における電動駆動関連設備の大口案件の売上計上があったため、当中間連結会計期間の売上高は、前中間連結会計期間に比べて60億38百万円増加の1,073億26百万円(前年同期比6.0%増)となりました。また、営業利益は4億64百万円増加の65億91百万円(前年同期比7.6%増)、経常利益は4億91百万円増加の67億5百万円(前年同期比7.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億76百万円増加の49億66百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

プラント・エネルギー事業

海外向けの各種プラント用設備の売上が減少したため、売上高は4億17百万円減少の106億24百万円(前年同期比3.8%減)となり、セグメント利益(営業利益)は1億20百万円減少の7億19百万円(前年同期比14.3%減)となりました。

エナジーソリューションズ事業

国内外向けのリチウムイオン電池製造設備等の売上が減少したため、売上高は18億6百万円減少の222億85百万円(前年同期比7.5%減)となり、セグメント利益(営業利益)は6百万円減少の12億79百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

産業機械事業

プラスチック製品・食品関連業界向けの成形機、塗装関連設備及び周辺機器等の売上が減少したほか、前期に売上を計上した大口案件の反動もあり、売上高は23億44百万円減少の128億37百万円(前年同期比15.4%減)となり、セグメント利益(営業利益)は3億44百万円減少の2億円(前年同期比63.2%減)となりました。

エレクトロニクス事業

I T及びデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の売上が減少したため、売上高は10億27百万円減少の229億29百万円(前年同期比4.3%減)となりましたが、販売費及び一般管理費の減少により、セグメント利益(営業利益)は1億29百万円増加の12億31百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

自動車事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、塗装ライン、車載電子部品製造関連設備等の売上が伸長したことに加え、電動駆動関連設備における大口案件の売上を計上したことにより、売上高は63億72百万円増加の234億92百万円(前年同期比37.2%増)となり、セグメント利益(営業利益)は8億74百万円増加の16億52百万円(前年同期比112.3%増)となりました。

ヘルスケア事業

医療関連機器製造装置や自動包装機ラインの売上が大幅に増加したため、売上高は37億40百万円増加の109億25百万円(前年同期比52.1%増)となり、セグメント利益(営業利益)は2億98百万円増加の10億60百万円(前年同期比39.2%増)となりました。

航空・インフラ事業

航空機地上支援機材及び空港施設関連機器や官公庁向け防衛関連機器・機材等の売上が大幅に増加したため、売上高は15億50百万円増加の41億93百万円(前年同期比58.7%増)となり、セグメント利益(営業利益)は2億42百万円増加の3億91百万円(前年同期比161.9%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、66億9百万円減少の1,647億64百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加があったものの、電子記録債権や前渡金の減少があったことによるものであります。

負債合計は、109億3百万円減少の806億18百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の増加があったものの、支払手形及び買掛金や前受金の減少があったことによるものであります。

純資産合計は、42億93百万円増加の841億45百万円となりました。これは主に、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する中間純利益49億66百万円の計上があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、43億6百万円増加し、381億88百万円(前年同期比75億40百万円増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少等があったものの、税金等調整前中間純利益の計上や売上債権及び契約資産の減少等があったことにより、62億97百万円の収入(前年同期比62百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出等があったものの、定期預金の減少等があったことにより、1億67百万円の収入(前年同期比13億9百万円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払い等があったことにより、18億7百万円の支出(前年同期比41億94百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績及び今後の見通しを考慮し、2025年5月9日に公表した内容より上方修正しております。

詳細につきましては、本日別途公表しました「通期業績予想の上方修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,960	39,563
受取手形、売掛金及び契約資産	37,631	36,203
電子記録債権	14,048	7,974
商品及び製品	22,216	21,742
仕掛品	1,716	2,190
原材料及び貯蔵品	881	805
前渡金	26,950	23,471
その他	10,640	9,548
貸倒引当金	△105	△114
流動資産合計	149,940	141,386
固定資産		
有形固定資産	3,343	3,415
無形固定資産	2,087	2,100
投資その他の資産		
投資有価証券	12,709	14,407
退職給付に係る資産	1,232	1,465
繰延税金資産	672	666
その他	1,547	1,481
貸倒引当金	△158	△159
投資その他の資産合計	16,002	17,861
固定資産合計	21,433	23,377
資産合計	171,373	164,764
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,977	27,512
短期借入金	2,220	2,160
未払法人税等	1,917	1,772
前受金	36,565	33,926
引当金	2,664	1,975
その他	12,432	8,737
流動負債合計	87,777	76,083
固定負債		
繰延税金負債	2,523	3,239
引当金	32	26
退職給付に係る負債	562	544
その他	625	723
固定負債合計	3,743	4,534
負債合計	91,521	80,618

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,787	3,820
利益剰余金	62,792	66,132
自己株式	△858	△806
株主資本合計	70,826	74,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,854	4,845
繰延ヘッジ損益	564	725
為替換算調整勘定	4,268	3,832
退職給付に係る調整累計額	172	305
その他の包括利益累計額合計	8,860	9,709
新株予約権	78	59
非支配株主持分	86	126
純資産合計	79,852	84,145
負債純資産合計	171,373	164,764

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	101,288	107,326
売上原価	83,406	88,559
売上総利益	17,881	18,766
販売費及び一般管理費	11,754	12,175
営業利益	6,126	6,591
営業外収益		
受取利息	60	63
受取配当金	478	224
仕入割引	78	98
その他	116	133
営業外収益合計	734	520
営業外費用		
支払利息	23	18
持分法による投資損失	8	44
支払手数料	57	51
為替差損	510	185
その他	46	105
営業外費用合計	647	405
経常利益	6,214	6,705
特別利益		
投資有価証券売却益	82	434
特別利益合計	82	434
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前中間純利益	6,296	7,140
法人税、住民税及び事業税	1,683	2,009
法人税等調整額	299	130
法人税等合計	1,983	2,140
中間純利益	4,313	5,000
非支配株主に帰属する中間純利益	22	34
親会社株主に帰属する中間純利益	4,290	4,966

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,313	5,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△883	990
繰延ヘッジ損益	△32	161
為替換算調整勘定	1,374	△429
退職給付に係る調整額	△13	132
その他の包括利益合計	444	854
中間包括利益	4,757	5,854
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,731	5,815
非支配株主に係る中間包括利益	25	39

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,296	7,140
減価償却費	565	556
株式報酬費用	19	83
のれん償却額	56	56
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	10
引当金の増減額(△は減少)	△297	△691
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6	△233
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	△17
受取利息及び受取配当金	△539	△288
支払利息	23	18
持分法による投資損益(△は益)	8	44
投資有価証券売却損益(△は益)	△82	△434
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
匿名組合投資損益(△は益)	△59	62
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	14,274	7,249
前渡金の増減額(△は増加)	△507	3,431
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,739	△79
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,068	1,595
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,349	△4,325
前受金の増減額(△は減少)	2,641	△2,483
その他の流動負債の増減額(△は減少)	942	△3,719
その他	△271	330
小計	7,941	8,307
利息及び配当金の受取額	543	306
利息の支払額	△23	△18
法人税等の支払額	△2,101	△2,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,360	6,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△701	685
有形固定資産の取得による支出	△195	△199
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△156	△297
投資有価証券の取得による支出	△192	△511
投資有価証券の売却による収入	118	496
貸付けによる支出	△28	△2
貸付金の回収による収入	1	2
その他	9	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,142	167

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,436	—
長期借入金の返済による支出	△60	△60
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,423	△1,635
その他	△81	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,002	△1,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,030	△351
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	245	4,306
現金及び現金同等物の期首残高	30,217	33,882
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	185	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,648	38,188

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							
	プラント・エネルギー事業	エナジーソリューションズ事業	産業機械事業	エレクトロニクス事業	自動車事業	ヘルスケア事業	航空・インフラ事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	11,042	24,092	15,182	23,957	17,119	7,184	2,642	101,221
セグメント間の内部売上高又は振替高	117	11	468	144	101	0	—	844
計	11,160	24,103	15,650	24,101	17,221	7,184	2,642	102,066
セグメント利益又は損失(△)	839	1,286	544	1,102	778	761	149	5,463

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	中間連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	66	101,288	—	101,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	855	△855	—
計	77	102,144	△855	101,288
セグメント利益又は損失(△)	△9	5,454	672	6,126

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額672百万円には、セグメント間取引消去625百万円、棚卸資産の調整額47百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	プラント・エネルギー事業	エナジーソリューションズ事業	産業機械事業	エレクトロニクス事業	自動車事業	ヘルスケア事業	航空・インフラ事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	10,624	22,285	12,837	22,929	23,492	10,925	4,193	107,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	220	6	128	1,387	187	16	—	1,947
計	10,845	22,292	12,966	24,317	23,680	10,941	4,193	109,236
セグメント利益又は損失(△)	719	1,279	200	1,231	1,652	1,060	391	6,535

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	中間連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	37	107,326	—	107,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	1,978	△1,978	—
計	68	109,305	△1,978	107,326
セグメント利益又は損失(△)	35	6,570	20	6,591

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額20百万円には、セグメント間取引消去24百万円、棚卸資産の調整額△4百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。